

水産動物の発育過程に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ニホンウナギの仔魚は、柳の葉のような形をしたアンモシーテス幼生として浮遊生活をする。
2. ヤツメウナギ類の仔魚は、レプトケファルス幼生と呼ばれ、孵化後数年間、砂泥底に潜って生活する。
3. ヒラメは、両眼が体側の片側に移動した状態で孵化し、その後着底するまでの間、浮遊生活をする。
4. クルマエビの孵化幼生は、フィロソーマと呼ばれる浮遊幼生である。これは多数回の脱皮を経て透明なプエルルスへと変態する。
5. ホタテガイの幼生は、浮遊生活を送った後、付着生活に入る。その後、付着幼生は足糸を切り離して基質から離れる。

【正答 5】

次の文章は、魚介類や海藻類の無機元素に関する記述である。文章中の空欄 a～d に入るものを正しく組み合わせているのはどれか。

魚介類の体内には、各種の無機元素が様々な形態で含まれている。甲殻類や軟体類では、血リンパ中の酸素運搬機能をもつタンパク質に a が含まれている。また、b はアルコール脱水素酵素やアルカリ性ホスファターゼなどの酵素の構成成分であり、b の含量は特にマガキで高い。ヒトの甲状腺が正常に機能する上で重要な c は、コンブなどに多く含まれている。また、ヒジキには有機態と無機態の d が多く含まれている。

	a	b	c	d
1.	亜鉛	銅	塩素	ヒ素
2.	亜鉛	銅	ヨウ素	水銀
3.	銅	亜鉛	塩素	ヒ素
4.	銅	亜鉛	ヨウ素	水銀
5.	銅	亜鉛	ヨウ素	ヒ素

【正答 5】